

下野市立南河内第二中学校

平成29年度

第5号

校長室だより

H29. 6. 28

発行者

上野 保久

晴天に恵まれた体育祭

晴天の中、二中の体育祭が行われました。

『優勝という名の一番星！今だ！輝け二中星！！』のスローガンのもと、生徒たちの躍動感あふれる演技が繰り広げられました。R・Yさんを実行委員長として、緑組応援団長S・Yさん、黄色組応援団長F・Mさん、赤組応援団長S・Rさん、青組応援団長S・Nさんのかけ声も勇ましく開会式が始まりました。選手宣誓はN・Tさんが力強く宣誓しました。体育祭全般を通して、準備段階から3年生がたいへんよくリーダーシップをとってくれました。短期間ではありましたが、練習の成果も表れていると感じました。また、今年は、「部活動紹介」時だけでなく、閉会式の「表彰」や「校歌斉唱」時に吹奏楽部の生演奏を入れました。本校校長に就任して3年目になります。その年ごとにクラスなどの条件が異なりましたが、年々やり方に工夫が見られていたと思います。



順風に乗って体育祭が無事終了するかと思った頃、プログラム終了まであと3種目というときに、雷雨になりました。2年生の百足競走の途中でしたが、演技を中断して教室に引き上げました。空が明るくなり始めた約30分後に再開し、プログラムを無事に終了しました。ところが、閉会式に移り成績発表まで行ったときに、雷鳴がしたので、表彰式は急きょ体育館で行うことにしました。体育館での表彰式中、豪雨となった窓の外を見て、間一髪、助かったと思いました。先生方からの指示に対して、生徒の動きもたいへん機敏にできたと思います。（このようなことは練習するはずありませんが、）まるで練習でもしたかのような動きに、私は感心してしまいました。

保護者の皆様には、慌ただしい動きにも苦情一つなくご協力をいただきまして、本当に有り難く思います。お陰様で、本校の第24回目の体育祭を無事終えることができました。ありがとうございました。

中間テスト

初めての中間テスト

～取り組む姿勢が大切～



1年生にとって、初めての中間テストがありました。テスト範囲が示され、それに沿って、1年生は頑張って家庭学習に取り組んだと思います。担任からは、家庭学習の習慣がつくよう「自主学習のノート」の提出等で、毎日チェックを受け、当日までにテストの受け方をしっかりと指導され、前期中間テストの当日を迎えました。いつにない緊張感をもって5教科のテストを受けたと思います。学年の先生方に話を聞くと、みんなテスト勉強に熱心に取り組んでいたそうです。結果を見れば、全体的に、たいへんよく頑張ったと言えます。

前期中間テスト・期末テスト、後期中間テスト・期末テストと1年間に定期テストが4回あります。2年生は5回目の定期テストであり、3年生は9回目の定期テストでした。

私が学級担任をしていたときに、よく生徒たちに言ったことです。①今回のテストにどのように取り組んだか、振り返ること。（取り組む姿勢の振り返りが大切。）②今回のテスト問題をやり直すこと。もう一度同じ問題をやったら満点が取れるようにしておくこと。期末テストには同じ問題はもう出ない。次にこの問題に出会うのは、入試の模擬テストか入試本番であるから。そのように、シラミつぶしに進んでいくのだと。（シラミつぶし作戦）

少しうまくいっていない2年生、3年生も、今からではもう遅いとあきらめることはありません。初めての中間テストに臨んだ時を思い出して、心機一転、頑張ってもらいたいと思います。なぜならば、気持ちが変われば、取り組む姿勢が変わると思うからです。

これはおすすめ私の一冊

『心を整える。～勝利をたぐり寄せるための56の習慣～』

長谷部 誠 (はせば まこと) 著 幻冬舎 1300円

サッカー日本代表のキャプテンとして、チームメイトから絶大な信頼を得、積極的な攻めと献身的な守りで活躍している筆者が、どのようにして、また、どのような考え方でサッカーと真剣に向き合ってきたかを、筆者の人柄がにじみ出るような文章で語っています。1984年1月生まれの若さではありますが、これまでの経験から学んだことの深さに感動しながら読みました。タイトルの通り『心を整える』ことの大切さが実感できます。

筆者にはまだまだやりたいことがたくさんあって、そのためにやるべきことは何かをしっかりと考え実践していくのだそうです。たいへん話題になった本でしたが、読まずにおりました。読んでよかったなと思える本でした。

(本文より)

取材などで「長谷部さんは運がいいですね」と言われることがある。(中略) さぼっていたら、運なんて来るわけがない。それにただがむしゃらに頑張っても運が来るとは限らない。普段からやるべきことに取り組み、万全の準備をしていれば、運が巡ってきたときにつかむことができる。たぶん、運は誰にでもやってきていて、それを活かせるか、活かせないかは、それぞれの問題なのだと思う。

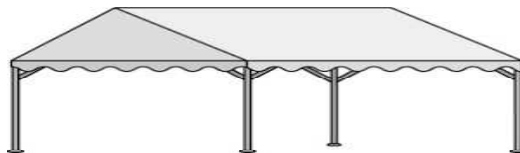


お知らせ

パソコン室、保健室、会議室、ミーティングルーム、事務室、職員室、校長室のエアコン工事が完了しました。今回の工事は、ガス式エアコンから電気式エアコンに転換する工事でした。7月3日(月)から使えるようになる予定です。(高温時)長らく工事が入り、来校者の皆様にはご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。



校長室の窓から



○ 体育祭の朝の話

ずっと心に垂れ込めていた不安がとけるように、すばらしい天気にも恵まれた体育祭を開催することができました。午前四時に空を見上げて、天に感謝しました。6月のこの時期に、好天に恵まれて体育祭が行えることは、大げさですが奇跡に近いものがあると、その幸運に恐ろしさのようなものまで感じました。

校庭で行われた職員の朝の打ち合わせで、私は『油断大敵』という言葉述べました。体育祭や運動会は、天気がよければ8割方成功したようなものだとよく言われます。幸運にも天気に恵まれたが、事件・事故はいつ起こるか分からない。油断していると、後手後手に回ってしまう。報告・連絡・相談(略して報・連・相)をしっかりやりましようと言いました。

嬉しさの中で、結構、気合いの入った朝でした。

○ 体育祭の夕暮れの話

順調に進んでいた体育祭が、一転、天候の変化によって、中断—避難—再開—体育館での表彰式という予想もしない展開になりました。この時の判断について、よい判断であったと褒めてくださった方がいました。とてもうれしく思いましたが、その時の状況判断は、先生方が、「遠くで雷の音が聞こえます。競技を中断しますか。」「雷雨が激しくなりそうです。今のうちに教室に避難させますか。」「空が明るくなってきました。再開しますか。」「雷鳴です。体育館でやりますか。」と、逐一提案したからでした。私は、「うん、そうだな。そうしよう。放送を入れて。」と言っただけです。唯一、提案なしに指示したのは、「保護者にも避難してくれるよう放送を入れて。」ということぐらいでした。

心ひそかに、有能な職員に恵まれたと、幸せな気持ちになった夕暮れでした。

